

2023 年度水稲関係生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2023 年度水稲関係生育調節剤試験成績検討会は、2023 年 12 月 21 日(木)に、Zoom を用いた Web 会議において開催された。この検討会には、試験場関係者 31 名、委託関係者 29 名ほか、計 75 名の参集を得て、健苗育成を目的とした

もの 1 剤(適用性 5 点)、登熟向上を目的としたもの 4 剤(適用性 14 点)、倒伏軽減を目的としたもの 1 剤(適用性 4 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。その判定結果については、次の表に示す通りである。

2023 年度水稲関係生育調節剤試験 判定

< 健苗育成 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
1	NF-171 フロアブル ピカルブトラゾクス:10.0% [日本曹達(株)]	健苗育成/移植直前処理での移植後の根部の生育促進効果および活着促進効果の検討(薬量拡大:1000倍,500mL/箱)	実・継	(実) 根部の生育促進および移植後の活着促進 ・播種時または発芽後(緑化始期) ・1000倍液500mL/育苗箱 2000倍液1000mL/育苗箱(発芽後処理を除く) ・土壌灌注処理 移植後の根部の生育促進および活着促進 ・移植直前 ・1000~2000倍液500mL/育苗箱 ・土壌灌注処理 (継) ・2000倍, 500mL/育苗箱処理での効果薬害の確認(播種時, 発芽後)

< 登熟向上 >

2	NGR-1202 ジャンボ イソプロチオラン:36% [日本農薬(株)]	登熟向上/ ①登熟向上効果の検討(低薬量拡大) ②高温登熟下における白未熟粒等発生軽減効果の検討(低薬量拡大) ③割れ籾発生軽減効果の検討	実・継	(実) 登熟向上 ・出穂10~20日前 ・75g×10~15個 ・湛水散布 高温登熟下での登熟向上・未熟粒発生軽減 ・出穂10~20日前 ・75g×15個 ・湛水散布 注)5cm程度の水深で散布する (継) ・効果の変動要因について ・高温登熟下での品質向上効果(白未熟粒等発生軽減)の確認(75g×10個処理) ・割れ籾発生軽減効果の確認
3	イソプロチオラン1kg 粒 イソプロチオラン:36% [日本農薬(株)]	登熟向上/ ①高温登熟下における白未熟粒等発生軽減効果の検討 ②割れ籾発生軽減効果の検討	実・継	(実) 登熟向上 ・出穂10~20日前 ・1kg/10a ・湛水散布 (継) ・高温登熟下での品質向上効果(白未熟粒等発生軽減)の確認 ・割れ籾発生軽減効果の確認

< 登熟向上 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
4	イソプロチオラン 乳 イソプロチオラン:40% [日本農薬(株)]	登熟向上/ ①登熟向上効果の検討(低薬量拡大) ②高温登熟下における白未熟粒等発生軽減効果の検討 ③割れ籾発生軽減効果の検討	実・継	実)登熟向上 ・穂ばらみ期～穂揃期 ・1000倍液150L/10a ・茎葉散布 継) ・高温登熟下での品質向上効果(白未熟粒等発生軽減)の確認 ・割れ籾発生軽減効果の確認
5	イソプロチオラン・フルトラニル 粒 イソプロチオラン:12% フルトラニル:7% [日本農薬(株)]	登熟向上/ ①登熟向上効果の検討 ②高温登熟下における白未熟粒等発生軽減効果の検討 ③割れ籾発生軽減効果の検討	継	継)効果・薬害の確認

< 倒伏軽減 >

6	SSDF-18 粒 ウニコナゾールP:0.0040% N-P-K:18-12-12 [住友化学(株)]	倒伏軽減/直播水稻での側条施用における倒伏軽減および薬害の検討	実	実)節間短縮による倒伏軽減(直播水稻) ・側条施用 ・播種時 ・15～30kg/10a (基肥として施用)
---	--	---------------------------------	---	--